

環境配慮型製品の提供

日本光電では、事業活動を通じた社会貢献として、地球環境に配慮した製品づくりに取り組んでおり、環境負荷の低減を推進しています。2021年度には右記製品を含む環境配慮型製品4品目を新たに発売しました。

■ 全自動血球計数器 MEK-9200

MEK-9200は、青色半導体レーザと核酸染色試薬を使うことで網赤血球に残存しているRNA (リボ核酸) を染色し、赤血球と網赤血球を精度よく分離することを可能とする日本光電独自の技術を搭載した医療機器です。RNAだけでなく細胞内のDNA (デオキシリボ核酸) の情報を同時に解析することが可能です。網赤血球は、骨髄から末梢血中に放出された新しい赤血球で、貧血などの診断に用いられます。特に検査数の多い海外のお客様の期待に応える新製品です。

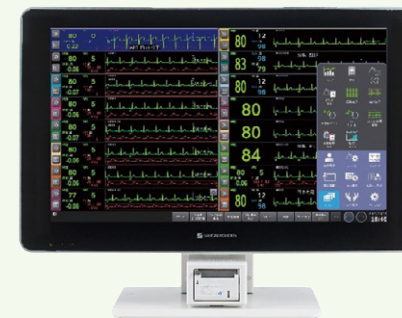


環境配慮ポイント

1台当たり体積は126.6%、重量は115.2%と従来製品と比較し大型化しましたが、従来2個口だった梱包方法を1個口になるよう見直した結果、梱包材の質量は110%に留めることができました。また、鉛フリー化、RoHS指令に対応しています。

■ セントラルモニタ CNS-2101

CNS-2101は、複数の患者さんのバイタルサイン (心電図や血圧などの生体情報) を集中してモニタリングするための医療機器です。CNS-2101は、患者さんを安全に見守るための“Defensive Monitoring for Patient Care”をコンセプトに、医療従事者の必要な情報へのアクセスを効率化し、患者さんの容態変化の発見をサポートすることにより、医療の質向上と業務効率改善への貢献を目指しています。ベッドサイドモニタや送信機等から受信したデータは、臨床情報システムに加え、診断情報システムや長時間心電図解析装置とも連携が可能です。さらに、ナースコールシステムへのアラーム情報の伝送、病院情報システムとの連携など、ネットワークでの情報共有により、業務効率の向上をサポートします。



環境配慮ポイント

1台当たり従来製品比23.8%の小型・軽量化により廃棄物削減に寄与します。使用電力量も40.0%削減しました。また、RoHS II指令、REACH規制に対応しています。